

株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.au.kddi.com/chiiki/okinawa/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

お問い合わせ

〒900-8540 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号 琉球リース総合ビル4F
沖縄セルラー電話株式会社
総務部 098-860-3608
<http://www.au.kddi.com/chiiki/okinawa/index.html>



環境に配慮し、さとうきびの搾りカスを原料とする
非木材紙「バガスシュガー」を使用しています。

OKINAWA CELLULAR TELEPHONE COMPANY

第18期 株主通信

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



au 沖縄セルラー電話
OKINAWA CELLULAR

株主の皆様へ



代表取締役会長
知念 榮治



代表取締役社長
北川 洋

株主、投資家の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととおよろび申し上げます。

平素は当社事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、ここに第18期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業の概況等を報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当事業年度におきましては、携帯電話市場の成熟化とお客様ニーズが多様化する中、各携帯電話事業者は、料金割引サービスの拡充や幅広いニーズに対応した多種多様な携帯電話端末を導入するなど、事業者間のお客様獲得に向けた競争環境はより厳しいものとなっております。

そのような情勢のもと、割引サービスの拡充によりARPU（1契約あたりの月間平均収入）が前期と比べ減少したことや携帯電話の割賦販売制度導入によりお客様の流動が鈍化したこと等を主因に減収となりましたが、携帯電話の販売台数減少により販売手数料や売上原価が減少したことや営業利益、経常利益とも増益となりました。

当社は、事業環境の急速な変化と高度化・多様化するお客様のニーズに柔軟かつ迅速に対応するため、お客様の満足を一番に考え、長期的な視点で様々な施策を展開してまいります。健全な財務基盤を維持し、株主の皆様に対して安定配当で報いることを会社の基本方針として取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、そのような方針をご理解いただき、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

社長インタビュー

・第18期（平成21年3月期）の減収増益という業績に対してどのように評価しているか

純増契約数は期初に想定した14,000契約を上回り16,700契約に達し、県内の累計契約数も48万台を超えることができました。但し継続的に実施してきた『誰でも割』や家族間通話無料等の料金割引サービスの拡充によりARPUの低下傾向は続いており、電気通信事業は減収となった。一方で、平成20年6月に割賦販売制度を導入して以降、auショップ店頭における携帯端末価格が上昇し、特に下期、景気減速からくる消費マインドの低下もあって、端末の販売台数が相当減った。端末の卸売事業である附帯事業はこれまで電気通信事業の落ち込みを収益面でカバーしてきたが、第18期においては減収となり、全体としても収益を減らすこととなった。

通信料と携帯端末料金を分離した割賦販売制度を導入した状況では、端末販売台数の減少とそれに伴う販売コストの減少等で、減収増益は構造的なものだ。その前提において、純増契約数の想定以上の伸びを確保できたことは、販売コストを一定限度に抑えたこととのバランスからも評価したい。端末販売が厳しい環境の中、このような結果を残せたことは、お客様の満足という目標のもと、販売代理店や事業パートナーと当社力が結集したからだと考えている。

・第18期決算に係る配当をこれまでの3,500円から3,750円と増配した背景は何か

これまでも配当性向3割を目標にしてきた。増配については前年度においても検討項目であったが、周波数再編に対応した設備投資や割賦販売制度の開始による資金需要を見極める必要があったため、見送った背景がある。第18期を終え、そういった不確定要因に目途が立ったため、増配することとした。結果、第18期の配当性向は3割を超える。今後も安定配当という考え方を基本に、その時々々の状況をみて増配を検討していきたい。



今後の3.9世代移動体通信システム導入に向けた設備投資や予想されるFMC（固定と携帯の融合）施策を前提にしても、当社の健全な財務基盤は揺るがない。この確固たる基

盤を、先ずはお客様により満足していただくために活用していく。足下で取り組んでいるエリア品質対応のスピードアップや、分散していたカスタマーセンターの統合、イベントや被災地等で力を発揮する車載基地局の導入等もお客様の満足に繋がる取り組みだと考えている。社員一人一人が考えるお客様の満足をスピード感を持って実現していきたい。お客様の支持を得て経営に良い循環を生み出すことで、結果的に株主様の期待にも応えられると考えている。

・今後、中期的に重要視することは何か

当社は県内で5割近いシェアを持っている。その前提に立てば、リテンション（顧客維持）施策を充実し、既にauをご利用になっているお客様に満足してもらうことが一番大切だと考えている。特に、以前よりauを継続的に使っていただいているサイレントマジョリティーのお客様には特段の注意を払いたい。『auジョイプロジェクト』等当社独自のリテンション施策は今後も手を緩めることはない。

収益が伸び悩む原因となっているARPUについては、全国平均との比較で低迷しているデータ通信利用を促進する。携帯電話のメニューデザインに当社独自コンテンツへのダイレクトボタンを備える『auシカナカチェン』のリリースや、当社が運営する携帯電話ポータルサイトの『auパラダイスネット』のリニューアル等、県内在住者に訴求するコンテンツを充実させた。手続きの手間を考えると、やはりauショップの店頭において新規契約や機種変更の際にEZwebを契約していただく必要がある。沖縄のお客様にとってデータを使うとこれだけ便利だということを店頭で訴えていきたい。

経営の考え方の基本にはTCS（Total Customer Satisfaction）の推進がある。すべてのステークホルダーの満足度がバランス良く向上しなければ業績は上がらない。特に、当社は沖縄の会社として、地元の販売代理店や事業パートナーの経営を含め県経済、県社会に対する責任を負っている。そのアイデンティティーを大切に、今後も県内のステークホルダーと共に成長する企業でありたい。

当期の概況

わが国経済は、世界経済の悪化や為替円高を背景に輸出が大幅に減少していることに加え、企業部門の収益悪化に伴う設備投資の減少や雇用削減など、景気は急速な悪化が続いております。

一方、当社業務区域の沖縄県の経済においては、個人消費は買い控えが強まったことによって幅広い品目で販売が伸び悩んでおり、また観光関連では景気悪化による旅行市場全体の冷え込み等により、昨年11月以降、入域観光客数が前年同月を下回って推移しているほか、雇用・所得情勢も弱い動きが続いているなど、県内景気も悪化しております。

この間、国内の携帯電話加入者（PHS除く）は平成21年3月末時点で107,487千契約（前期末比4,762千契約増）、沖縄県では980千契約（前期末比43千契約増）となり、携帯電話市場の成熟化とお客様ニーズが多様化する中、各携帯電話事業者は、料金割引サービスの拡充や、幅広いニーズに対応した多種多様な携帯電話端末を導入するなど、事業者間のお客様獲得に向けた競争環境はより厳しいものとなっております。

当事業年度における営業収益については、前期比1,967,319千円減少（4.1%減）の46,087,206千円となりました。このうち、電気通信事業営業収益については、累計契約数が前期比3.5%増加したものの、料金割引サービスの拡充等によってARPU*1が前期比8.3%減少したことにより、前期比1,846,238千円減少（4.8%減）の36,332,363千円となりました。附帯事業営業収益については、『安心ケータイサポート』収入の増加等があったものの、新しい携帯電話販売方法の導入によりお客様の流動が鈍化したことに伴い、代理店への携帯電話販売収入が減少したことから、前期比121,080千円減少（1.2%減）の9,754,842千円となりました。

営業費用については、南城ネットワークセンターの建設や周波数再編に伴い減価償却費や通信設備使用料などが増加し、また『auBOX』や電池パック無料サービスなどの新サービスに係る費用が新たに発生したものの、新規契約数や機種変更数、並びに携帯電話の販売台数が減少したことに伴い、販売手数料や売上原価が減少したことなどから、営業費用全体では前期比2,149,806千円減少（5.7%減）の35,732,399千円となりました。

営業利益については前期比182,487千円増加（1.8%増）の10,354,806千円、経常利益については前期比212,469千円増加（2.1%増）の10,513,549千円となりました。

当期純利益については、周波数再編に係る設備の減損損失1,030,207千円を特別損失に計上したため、前期比469,221千

円減少（7.3%減）の5,997,615千円となりました。

*1 ARPU (Average Revenue Per Unit) : 1契約あたりの月間平均収入。音声・データ両サービスにおいて算出。

当事業年度における事業の状況については、通話料金割引サービスの拡充や、au携帯電話のラインナップとサービスの充実、ネットワーク品質の向上等、お客様重視のサービスに取り組んだ結果、前期末と比較して累計契約数が16,400契約増加（3.5%増）の480,300契約、EZweb契約数が11,300契約増加（2.9%増）の399,000契約となりました。

携帯電話出荷台数については、新しい携帯電話販売方法の導入によりお客様の流動が鈍化したことで、代理店への携帯電話の販売台数が減少したため、前期比59,000台減少（25.7%減）の171,000台となりました。

解約率については、『誰でも割』や家族間通話の無料化の効果などによりお客様の定着化が図られた結果、前期比0.28ポイント減少の0.51%と改善しております。

機種変更率については、平成19年11月に導入した『au買い方セレクト』などの影響により、お客様の機種変更サイクルが長くなる傾向がみられ、前期比1.15ポイント減少の2.40%となりました。

ARPUについては、前期比573円減少（8.3%減）の6,319円となりました。このうち、音声ARPUについては、家族間通話の無料化の影響を主因として前期比652円減少（13.1%減）の4,318円となりました。データARPUについては、第三世代携帯電話『CDMA 1X WIN』ならびにパケット通信料定額サービスの契約比率の増加により、前期比79円増加（4.1%増）の2,001円となりました。

《主なトピックス》
(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

【au携帯電話】

- ・世界初*2、3D対応3.1インチフルワイドVGA IPS液晶を搭載、『LISMO Video』やワンセグ、ゲームを2WAYオープンスタイル&3D立体表示で楽しむ『Wooo*3ケータイ H001』を発売。
- ・8.1メガカメラ&世界初*4 3.3インチフルワイドVGA有機ELディスプレイ*5を搭載し、グローバルパスポートに対応した、世界中で使える『Cyber-shot™ケータイ S001』を発売。
- ・au初、タッチパネル対応3.1インチフルワイドVGA液晶搭載し、タッチ操作とモーションセンサーでスポーツや音楽等を

快適に楽しむスポーツ&プレイケータイ『CA001』を発売。

上記を含め、『CDMA 1X WIN』を36機種発売いたしました。

- *2 フルワイドVGAの3D液晶を搭載した携帯電話において。(2009年1月現在メーカー調べ)
- *3 「Wooo」は株式会社日立製作所の登録商標です。
- *4 2008年12月現在メーカー調べ。
- *5 VisualフルワイドVGAとして。



【料金サービス】

- ・『au買い方セレクト』の『シンプルコース』に、基本使用料がより低廉な7つの料金プランを導入いたしました。(6月)
- ・au携帯電話からご自宅への通話料が半額となる『au→自宅割』において、ご自宅がKDDI固定電話（マイライン除く）でかつ、『KDDIまとめて請求』をご利用であれば、au携帯電話からご自宅への通話が24時間無料となる『auまとめトーク』を提供開始いたしました。(8月)

【購入代金の分割払いの取り扱い開始】

- ・au携帯電話を『シンプルコース』でご購入いただく場合、従来の一括払いに加え、最長24回の分割払いでもお支払いいただけるようになりました。(6月)

【新サービス】

- ・いつでも、どこでも、高画質、高音質な映画やドラマをau携帯電話やPCで、まるごと1本お楽しみいただける『LISMO Video』を提供開始いたしました。(6月)
- ・お客様の好みの情報サイトやサービスに簡単にアクセスできるよう、メニューデザインやボタン操作、コンテンツなど携帯電話の中をauショップ、PiPit（一部除く）の店頭で簡単に変更できるサービス『ナカチェン』を提供開始いたしました。(6月)
- ・au携帯電話の外装全面とコンテンツなど、外も中もまるごと変えることができる『フルチェン』サービスを開始いたしました。(7月)
- ・PCをお持ちでないお客様でも、簡単に音楽や映像をお楽しみいただけるケータイ専用アミューズメント・ボックス『auBOX』のレンタルを開始いたしました。(11月)
- ・圧縮コーデックにAAC*6方式を採用し、オリジナルのオーデ

ィオ情報を損なうことなく、高音質で音楽を楽しむことができる『着うたフルプラス™*7』の提供を開始いたしました。(12月)

- *6 「AAC」は音声圧縮方式のひとつでAdvanced Audio Codingの略です。
- *7 「着うたフルプラス™」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標または商標です。

【その他】

- ・『auプレミアムメンバーズ』の会員限定の特別優遇プログラムとして、対象期間の累計ご利用額に応じ、様々な優遇サービスをご提供する『ロイヤルメンバーステージ』を導入いたしました。(5月)
- ・お客様が特定のauショップまたはPiPitにて会員登録していただくことにより、auからのお得な情報に加え、登録店舗の情報やお客様にあわせたタイムリーな情報をお届けするサービス『auマイプレミアショップ』を提供開始いたしました。(2月)
- ・今後のお客様の増加や新サービスの導入を見据え、沖縄県南城市に新しく南城ネットワークセンターを建設いたしました。(2月)

次期の見通し

次期の業績見通しにおける営業収益につきましては、累計契約数の増加が見込まれるものの、新シンプルプランの構成比が高まることによってARPUが減少し、また代理店への携帯電話販売台数減により販売収入が減少すると見込まれるため、前期比2,087百万円減少（4.5%減）の44,000百万円を見込んでおります。営業費用については、減価償却費や通信設備集約に伴う固定資産除却費及び修繕費の増加等が予想されるものの、新規契約数と機種変更数の減少やシンプルコースの構成比の上昇によって販売手数料が減少し、また携帯電話販売台数減により売上原価が減少すると見込まれるため、前期比732百万円減少（2.0%減）の35,000百万円を見込んでおります。

以上の結果、営業利益については前期比1,354百万円減少（13.1%減）の9,000百万円、経常利益については前期比1,413百万円減少（13.4%減）の9,100百万円、当期純利益については前期比297百万円減少（5.0%減）の5,700百万円を見込んでおります。

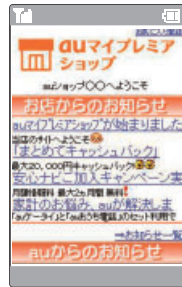
今後、経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受け、業績に変動を与える可能性のある事象が生じた場合などにおいては、適時に業績予想の見直しについて検討を行ってまいります。

入会金・年会費無料

au マイプレミアショップ

「au マイプレミアショップ」とは、au プレミアメンバーズ*1 にご登録のお客様限定の会員サービスです。お住まいや勤務地の近くなど、行きつけのお店を登録していただくと、登録したお店から、おトクな情報や特別優遇などがメールで届きます。

*1:「au プレミアメンバーズ」とは、au ケータイを使った分だけ au ポイントが貯まり、特典が受けられる優遇会員制度です。



特典 1 初回登録のお客様に au ポイント
もれなく **100 ポイント!**
※ポイントの進呈は初回登録時のみです。

特典 2 メールやホームページで
おトクな情報をお届け!
※別途パケット通信料がかかります。

au 2009 NEW MODEL LINE UP <p>511 万画素 3.5 インチ液晶 フルスクリーン</p>	biblio ブックケータイ登場。 <p>320 万画素 3.0 インチ液晶 フルスクリーン</p>	Sportio water beat スポーツケータイ。 <p>320 万画素 3.0 インチ液晶 フルスクリーン</p>	SOLAR PHONE SH002 世界初、ソーラーパネル搭載防水ケータイ。 <p>520 万画素 3.0 インチ液晶 フルスクリーン</p>	T002 防水海外ケータイ。 <p>319 万画素 3.0 インチ液晶 フルスクリーン</p>	GzOne CA002 タフなケータイ最新モデル。 <p>197 万画素 2.7 インチ液晶 フルスクリーン</p>
K002 スタイリッシュなスリムワンセグケータイ。 <p>320 万画素 3.0 インチ液晶 フルスクリーン</p>	E30HT アプリケーション充実のスマートフォン。 <p>320 万画素 2.8 インチ液晶 フルスクリーン</p>	Cyber-shot™ケータイ S001 ハイスペックカメラ & ディスプレイ搭載。 <p>808 万画素 3.3 インチ液晶 フルスクリーン</p>	Walkman® Phone, Premier3 3スタイルのエンタテインメントプレイヤー。 <p>319 万画素 3.0 インチ液晶 フルスクリーン</p>	T001 パーツ単位でカラーコーディネートOK。 <p>515 万画素 3.1 インチ液晶 フルスクリーン</p>	SH001 動きに強い高感度カメラ搭載。 <p>800 万画素 3.0 インチ液晶 フルスクリーン</p>

「Cyber-shot」は、ソニー株式会社の登録商標または商標です。「Walkman」ロゴはソニー株式会社の登録商標です。*「Premier」(プレミアキューブ)はソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の商標です。
2009年5月1日現在

EZweb au パラダイスネット http://52830ez.jp

auパラダイスネットがリニューアルしました!

沖縄セルラー電話が提供している、地元情報満載のポータルサイト「auパラダイスネット」がリニューアル。グルメやシネマ情報、スポーツや音楽ダウンロードサイトの紹介に加え、リアルな沖縄の暮らしに便利なコンテンツが満載! もちろんデザインも変わって使いやすくなったので、要チェック!

パラダイスネット内検索がカンタンに!
カテゴリ別に並んで見やすい!
「幻のauシカ!サイト」も見逃すな!

ケータイの中身を丸ごとauシカ!にするなら
ナカチェン! auシカ! ワールドパック
auシカ!がかわいく動くメニュー画面からは、パラダイスネットへジャンプするよ。旧態や潮回りわかる待受画面がプリセット。沖縄の生活にピッタリなauシカ!のナカチェンにして、毎日をもっと楽しもう!
無料 au ショップ・PIPIE (一部除く) で申し込みください。スタンプが設定をいたします。
対応機種: Walkman® Phone, Premier3, re, CA001, H001, P001, S001, SH001, T001, W651, W645H, W645A, W64T, W63CA, W63H, W62H, W62CA, W62T, W62SH, (lida)G9
※ナカチェンの設定には、パケット通送料がかかります。*メニュー画面からサイトをご利用の場合、パケット通送料がかかります。また、別途情報料がかかる場合があります。*EZ安心アクセスサービス(接続先限定コース)ご加入のお客さまは、一部ご覧になれないサイトがあります。©沖縄セルラー電話

人気 No.1! 「auシカ!のスポーツゲーム」
auシカ!のスポーツゲーム
auシカ!のスポーツゲーム
auシカ!のスポーツゲーム

お客様還元サービス auでよかった!とご満足いただくために。

auジョイプロジェクト 総計 96,600 名様へプレゼント!!

あなたの喜ぶ顔が見たい!をコンセプトにはじまったauジョイプロジェクト。auをご利用いただいているお客様に様々なイベントやプレゼント企画をご用意!今後も様々な企画で楽しみと喜びをお届けしていきます。

第1弾 琉球海炎祭2005 3,000名様 第2弾 サンセットルーズ 1,000名様 第3弾 吉本お笑いライブ 3,000名様 第4弾 ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル2005 400名様 第5弾 シネマdeハッピー2005映画チケットプレゼント 6,000名様 第6弾 筋肉ミュージカル2005 1,600名様 第7弾 亜細亜音楽楽園2006 4,000名様 第8弾 極上のリラクゼーションリゾートエステプレゼント 1,260名様 第9弾 琉球海炎祭2006 4,000名様 第10弾 アポロダージュ行くぞ! 3,490名様 第11弾 ミュージックギフトカード 2,000名様 第12弾 ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル2006 1,500名様 第13弾 シネマdeハッピー2006映画チケットプレゼント 6,000名様 第14弾 筋肉ミュージカル2006 1,600名様 第15弾 ミュージックギフトカード 2,500名様 第16弾 極上のリラクゼーションリゾートエステプレゼント 3,160名様 第17弾 琉球海炎祭2007 4,000名様	第18弾 セロ マジカルライブ2007 3,000名様 第19弾 ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル2007 1,500名様 第20弾 吉本お笑いライブ 2,000名様 第21弾 筋肉ミュージカル2007 1,600名様 第22弾 シネマdeハッピー2007映画チケットプレゼント 4,300名様 第23弾 ENJOY MUSIC 2008 2,500名様 第24弾 琉球海炎祭2008 4,080名様 第25弾 セロ マジカルライブ 2008 3,000名様 第26弾 ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル 2008 1,500名様 第27弾 Every Little Thing ライブイベント 八重山・宮古限定 ステッチ番組試写イベント 3,500名様 第28弾 かりゆし58 ライヴ&映画プレゼント 1,900名様 第29弾 シネマdeハッピー 4,000名様 第30弾 ENJOY HOME 4,300名様 第31弾 琉球海炎祭 5,600名様 第32弾 爆笑バトルライブ in 沖縄 4,010名様 第33弾 琉球海炎祭 1,300名様
---	--



2009年5月1日現在

貸借対照表

(単位：千円)

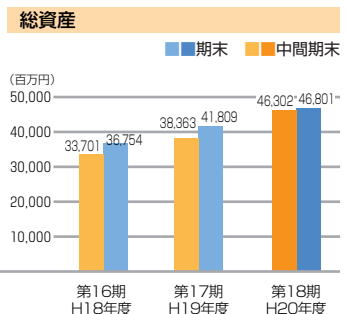
科 目	当 期 (平成21年3月31日現在)	前 期 (平成20年3月31日現在)
資 産 の 部		
固 定 資 産	21,403,986	17,441,348
電気通信事業固定資産	19,592,366	16,352,958
有 形 固 定 資 産	19,421,241	16,257,476
機 械 設 備	9,058,557	7,788,862
空 中 線 路 設 備	4,907,766	4,525,927
市 外 線 路 設 備	3,442	2,367
土 木 設 備	53,938	33,785
建 物	3,660,149	1,943,800
構 築 物	345,180	286,154
機 械 及 び 装 置	24	32
車 両	130,633	—
工 具、器 具 及 び 備 品	374,463	242,212
土 地	544,581	516,962
建 設 仮 勘 定	342,503	917,370
無 形 固 定 資 産	171,124	95,482
施 設 利 用 権	129,688	53,709
ソ フ ト ウ ェ ア	32,181	32,517
借 地 権	2,000	2,000
電 話 加 入 権	7,255	7,255
附 帯 事 業 固 定 資 産	5,444	—
有 形 固 定 資 産	5,444	—
投 資 そ の 他 の 資 産	1,806,176	1,088,390
投 資 有 価 証 券	106,328	124,196
社 内 長 期 貸 付 金	7,477	5,009
長 期 前 払 費 用	288,692	264,937
繰 延 税 金 資 産	1,292,744	566,020
敷 金 及 び 保 証 金	111,539	116,189
そ の 他 の 投 資 及 び そ の 他 の 資 産	64,915	83,201
貸 倒 引 当 金	△65,520	△71,164
流 動 資 産	25,397,999	24,367,970
現 金 及 び 預 金	1,089,372	2,596,145
売 掛 金	6,258,552	4,160,736
未 収 入 金	1,349,083	1,109,930
貯 蔵 品	873,110	1,144,398
前 払 費 用	82,255	77,102
繰 延 税 金 資 産	641,680	446,200
関 係 会 社 短 期 貸 付 金	15,311,464	14,998,915
そ の 他 の 流 動 資 産	542	—
貸 倒 引 当 金	△208,063	△165,459
資 産 合 計	46,801,986	41,809,318

POINT 1

「固定資産」は、今後のお客様の増加や新サービスの導入を見据え、沖縄県南城市に南城ネットワークセンターを建設したことなどにより、当期において8,425百万円の竣工実績となりました。

POINT 2

「流動資産」は、携帯電話の割賦債権の増加を主因として、25,397百万円となりました。



(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

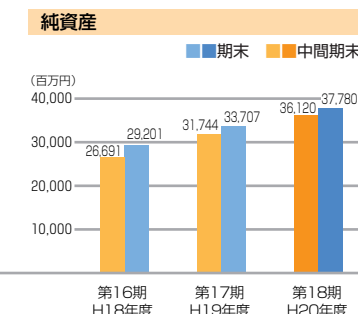
科 目	当 期 (平成21年3月31日現在)	前 期 (平成20年3月31日現在)
負 債 の 部		
固 定 負 債	1,633,810	1,265,561
退 職 給 付 引 当 金	45,066	—
ポ イ ン ト 引 当 金	1,519,228	1,170,308
そ の 他 の 固 定 負 債	69,515	95,253
流 動 負 債	7,387,483	6,835,984
買 掛 金	733,989	982,704
未 払 金	3,012,200	3,240,309
未 払 費 用	73,901	89,539
未 払 法 人 税 等	2,512,200	1,784,200
前 受 金	916,634	617,063
預 り 金	10,052	7,929
賞 与 引 当 金	113,025	100,936
役 員 賞 与 引 当 金	15,480	13,300
負 債 合 計	9,021,293	8,101,545
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	37,779,253	33,695,577
資 本 金	1,414,581	1,414,581
資 本 剰 余 金	1,614,991	1,614,991
資 本 準 備 金	1,614,991	1,614,991
利 益 剰 余 金	34,749,681	30,666,005
利 益 準 備 金	64,425	64,425
そ の 他 利 益 剰 余 金	—	—
別 途 積 立 金	27,700,000	23,100,000
繰 越 利 益 剰 余 金	6,985,255	7,501,579
評 価 ・ 換 算 差 額 等	1,439	12,195
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,439	12,195
純 資 産 合 計	37,780,692	33,707,773
負 債 ・ 純 資 産 合 計	46,801,986	41,809,318

POINT 3

「純資産」は、当期純利益の計上などにより、前期末と比較して4,072百万円増加し、37,780百万円となりました。

POINT 4

自己資本比率は、前期80.6%から当期80.7%となりました。



(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

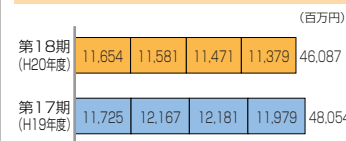
(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
電気通信事業営業損益		
営業収益	36,332,363	38,178,602
営業費用	21,442,436	28,860,984
営業費用	8,503,661	16,843,116
施設保全費用	2,105,188	1,975,026
管理費用	1,198,335	1,179,638
減価償却費	3,411,251	2,836,904
固定資産除却費	197,482	204,248
通信設備使用料	5,671,876	5,456,219
租税公課	354,640	365,829
電気通信事業営業利益	14,889,927	9,317,618
附帯事業営業損益		
営業収益	9,754,842	9,875,923
営業費用	14,289,963	9,021,221
附帯事業営業利益	△4,535,120	854,701
営業利益	10,354,806	10,172,319
営業外収益	158,742	130,943
営業外費用	—	2,182
経常利益	10,513,549	10,301,079
特別損失	1,030,207	—
減損損失	1,030,207	—
税引前当期純利益	9,483,341	10,301,079
法人税、住民税及び事業税	4,400,817	3,899,904
法人税等調整額	△915,092	△65,662
当期純利益	5,997,615	6,466,837

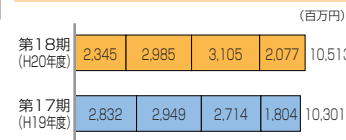
(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期毎の推移

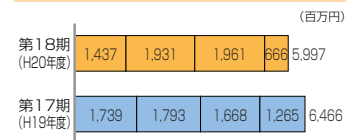
営業収益



経常利益



当期純利益



キャッシュ・フローの状況

(単位：千円)

	当 期	前 期	増 減
	(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,304,871	9,458,541	△153,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,899,150	△9,018,635	119,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,912,493	△1,913,202	708
現金及び現金同等物の増減額	△1,506,772	△1,473,296	—
現金及び現金同等物の期首残高	2,596,145	4,069,441	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,089,372	2,596,145	△1,506,772

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・換 算差額等 合計		
		資本 準備金	資本 剰余金 合計		別途 積立金	繰越利益 剰余金					利益 剰余金 合計
平成20年3月31日残高	1,414,581	1,614,991	1,614,991	64,425	23,100,000	7,501,579	30,666,005	33,695,577	12,195	12,195	33,707,773
事業年度の変動額											
別途積立金の積立					4,600,000	△4,600,000	—	—			—
剰余金の配当						△1,913,940	△1,913,940	△1,913,940			△1,913,940
当期純利益						5,997,615	5,997,615	5,997,615			5,997,615
株主資本以外の項目の事業年度の変動額(純額)									△10,756	△10,756	△10,756
事業年度中の変動額合計					4,600,000	△516,324	4,083,675	4,083,675	△10,756	△10,756	4,072,919
平成21年3月31日残高	1,414,581	1,614,991	1,614,991	64,425	27,700,000	6,985,255	34,749,681	37,779,253	1,439	1,439	37,780,692

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

利益還元等

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項の一つと認識しており、今後の事業展開に備えるための内部留保や財務体質の強化を勘案しつつ、安定配当を継続的にを行うことを基本方針としております。

当事業年度の期末配当金につきましては、普通配当1株当たり3,750円とし、すでに1株につき3,500円の間配当を行っておりますので、年間配当金は1株につき7,250円となりました。

この結果、当事業年度の配当性向は33.1%、自己資本当期純利益率は16.8%、純資産配当率は5.5%となりました。

配当状況

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
中間配当金	2,000円	2,000円	2,500円	3,500円	3,500円
期末配当金	2,000円	2,500円	3,500円	3,500円	3,750円
年間配当金	4,000円	4,500円	6,000円	7,000円	7,250円

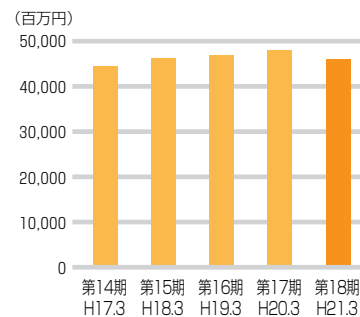
(注) 平成17年9月22日付で株式分割(1株につき2株の割合で分割)を実施しております。

財務ハイライト

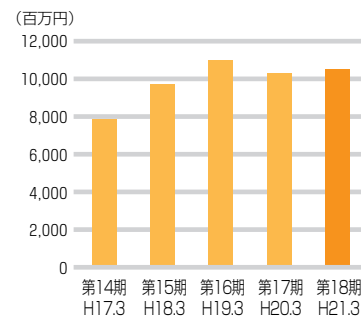
	第14期 H17.3	第15期 H18.3	第16期 H19.3	第17期 H20.3	第18期 H21.3
営業収益(百万円)	44,582	46,077	46,883	48,054	46,087
経常利益(百万円)	7,861	9,700	11,003	10,301	10,513
当期純利益(百万円)	5,028	6,074	6,927	6,466	5,997
1株当たり当期純利益※1	36,714円70銭	22,177円43銭	25,338円15銭	23,651円66銭	21,935円54銭
総資産(百万円)	26,348	31,562	36,754	41,809	46,801
純資産(百万円)	18,396	23,677	29,201	33,707	37,780
自己資本比率(%)	69.8	75.0	79.5	80.6	80.7
EBITDA(百万円)	10,928	12,701	13,690	13,160	13,893
EBITDAマージン(%)	24.5	27.6	29.2	27.4	30.1
ROCE(使用総資本利益率)※2(%)	40.0	43.2	40.9	32.3	29.0
ROE(自己資本利益率)※3(%)	31.4	28.9	26.2	20.6	16.8

※1 平成17年9月22日付で株式分割(1株につき2株の割合で分割)を実施しております。
 ※2 ROCE=営業利益÷(純資産+有利子負債)×100、有利子負債は前期末・当期末の平均値
 ※3 ROE=当期純利益÷純資産×100、純資産は前期末・当期末の平均値

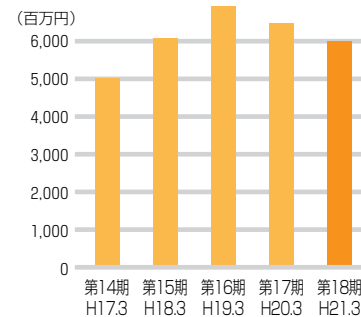
営業収益推移



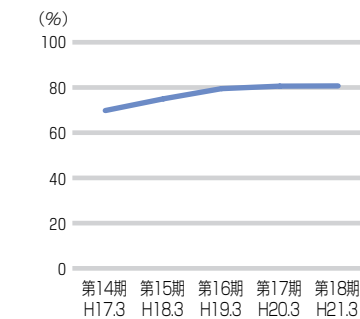
経常利益推移



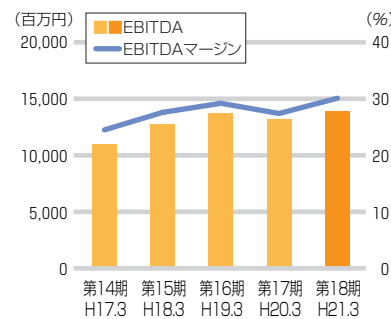
当期純利益推移



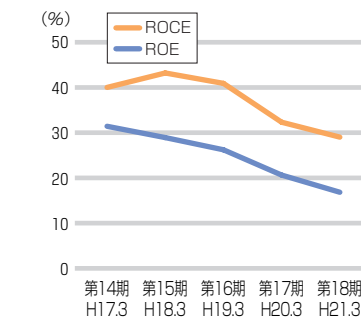
自己資本比率推移



EBITDA/EBITDAマージン

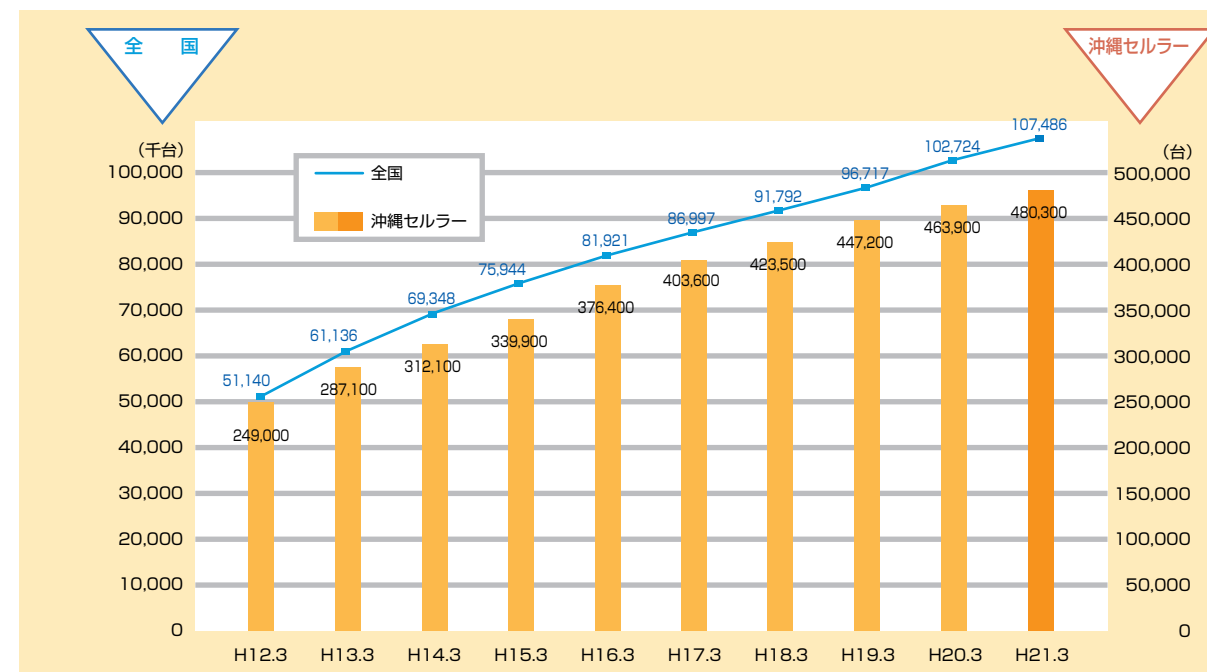


ROCE(使用総資本利益率)・ROE(自己資本利益率)



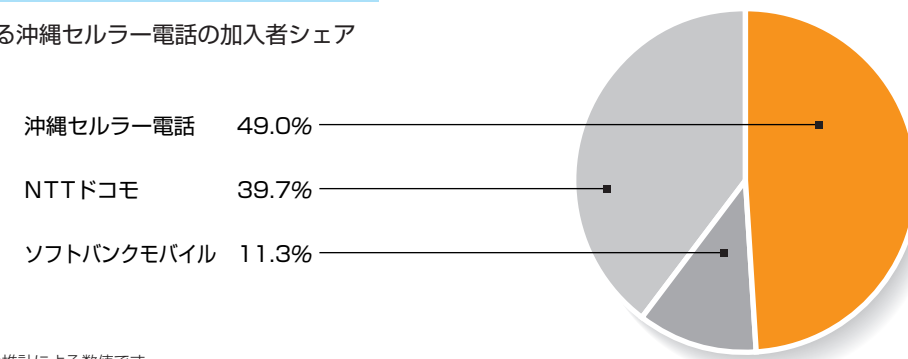
営業データ (平成21年3月31日現在)

携帯電話普及台数



沖縄県の加入者シェア

沖縄市場における沖縄セルラー電話の加入者シェア



※他社のシェアは、当社の推計による数値です。

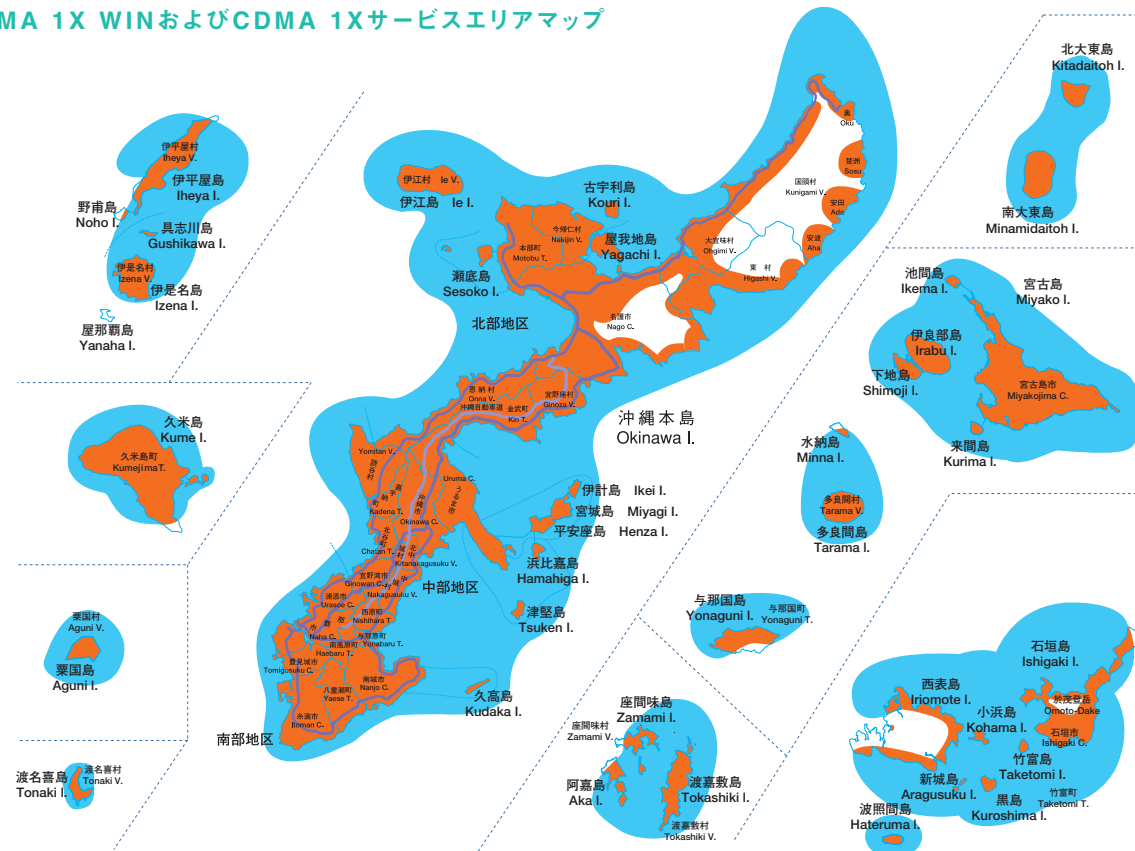
サービスエリア

全国エリアで使える、話せる、CDMA 1X WIN。
 沖縄県内人口カバー率*100%!

*「人口カバー率」は市町村の役場が所在する地点における通話が可能かを基に算定しています。

CDMA 1X WINおよびCDMA 1Xサービスエリアマップ

7年連続
No.1
auは「どこでもつながる」—圏外の少なさ
 (どこでもつながる)の項目での満足度—が
 7年連続満足度No.1でした。
日経BPコンサルティング調べ「携帯電話“個人利用”実態調査2008」より



	CDMA 1X WIN 通話および最大2.4Mbps*データ通信	CDMA 1X 通話および最大144kbpsデータ通信
	○	○
	○	○

は海上でのエリア (2009年3月末現在)

au電話がつながる主な地下および屋内施設

パレット地下食料品売場、三越地下1F食料品売場、牧志OPAの地下売店、首里りうぼう地下1F食料品売場、首里城公園地下駐車場、県民広場地下駐車場(県庁地下)、久米島空港ターミナルビル[®]等
*停電が発生した時、ご利用にできない場合があります。

★受信の場合。送信の場合は最大144kbps。ベストエフォート方式による提供のため、通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化します。●携帯電話は電波を利用しているため、サービスエリア内でも、電波の届かない所では通話できません。(トンネル、屋内、地下、山間部、島嶼、海上、湖上などではご利用にできない場合があります。)●サービスエリア外に出ると電波が届かないため、発・着信はできません。●電波の性質上、電波状態は刻々と変動します。携帯電話に表示されるアンテナマークは目安としてご利用ください。●海上保安本部へ緊急通報する場合は、au電話から118番をダイヤルしてください。●PC通信等によるデータ通信の場合は、対応機種・対応USBケーブルのご利用により、受信最大2.4Mbps通信が可能になります。

- サービスに関するお問い合わせ先
- 一般電話からフリーコール0077-7-111へ(通話料無料)
- au電話から局番なしの157へ(通話料無料)

会社概要 (平成21年3月31日現在)

1. 会社名 沖縄セルラー電話株式会社
2. 設立 平成3年6月1日
3. 事業の内容 電気通信事業
(携帯電話サービスの提供)
・本社 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号
・ネットワークセンター 沖縄県那覇市東町4番地の1
他2ヶ所
・物流センター 沖縄県豊見城市与根50番71号
・保守サービスセンター 沖縄県宜野湾市我如古1丁目34番2号
5. 資本金 1,414,581千円

株式の状況 (平成21年3月31日現在)

大株主

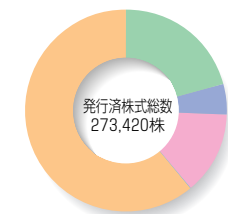
氏名又は名称	持株数(株)	出資比率(%)
K D D I 株式会社	140,860	51.51
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託)	8,830	3.22
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託)	7,954	2.90
メロンバンクエヌエートリーテイクライアントオムニバス(常任代理人株式会社三菱東京UFJ銀行)	7,050	2.57
株式会社沖縄銀行	4,720	1.72
株式会社琉球銀行	4,720	1.72
沖縄電力株式会社	4,720	1.72
琉球放送株式会社	4,720	1.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託)	4,710	1.72
ジェービーモルガンチェースバンク380055(常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行兜町証券決済業務室)	2,925	1.06

役員の状況 (平成21年6月16日現在)

- | | |
|---------|----------|
| 取締役相談役 | 稲盛和夫 |
| 代表取締役会長 | 知念榮治 |
| 代表取締役社長 | 北川洋 |
| 常務取締役 | 嵩元盛兼 |
| 取締役 | 仲宗根朝整 |
| 取締役 | 仲地正和 |
| 取締役 | 崎間正晃 |
| 取締役 | 小禄邦男 |
| 取締役 | 小野寺正誠 |
| 取締役 | 高橋英雄(新任) |
| 常勤監査役 | 庄野実 |
| 監査役 | 安里昌利 |
| 監査役 | 當眞嗣吉 |
| 監査役 | 仲村文弘 |

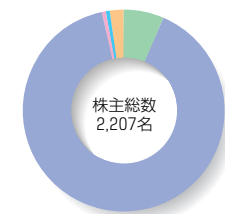
※取締役中野伸彦は、平成21年6月16日開催の第18期定時株主総会終結のときをもって退任いたしました。

株式分布状況



外国法人等	56,726株 (20.75%)
個人その他	13,348株 (4.88%)
金融機関	36,286株 (13.27%)
金融商品取引業者	160株 (0.06%)
その他の法人	166,900株 (61.04%)

株主分布状況



外国法人等	142名 (6.43%)
個人その他	1,988名 (90.08%)
金融機関	14名 (0.63%)
金融商品取引業者	14名 (0.63%)
その他の法人	49名 (2.22%)

株価チャート

